第十二講・説明的文章⑥

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

①生命は38億年という長い時間をかけて進化してきました。最初はただ②一種類の生命から出発し、それを祖先として、「生物を分類するときの基本的な単位」であるいろいろな「種」に分かれてきたのです。

その中で、あるものは動かずに栄養分をつくる能力をもった植物になりました。またあるものは、動き回って栄養分を集める動物になりました。

動物であっても、長い年月の進化の結果、多種多様な種が生まれ、殻をかぶった昆虫や背骨をもった魚類などになりました。その魚類からはカエルなどの両生類が生まれ、ヘビなどのハ虫類、トリケラトプスのような恐竜類、ハトのような鳥類、ヒトや牛のようなホ乳類へと進化してきたのです。

③いずれも、祖先から分かれるときに少し変わった能力を獲得し、それが自然環境によく合っていると栄え、自然環境に合わなかったものは絶滅しました。こうして、木が次々と枝分かれするように生物の種が増え、複雑な体をもったものが生まれてきたのです。

④ヒトはサルから生まれたといわれていますが、現代のサルからヒトが生まれたわけではありません。サルとヒトの共通の祖先がいて、約600万年前、その祖先からサルとヒトに分かれたのです。だから、はじめ人は４本足だったのですが、２本足で立って歩けると手を使えるようになり、食べ物が集めやすいとか、道具をつくることができるなど、生きていく上で他の動物とは異なる生活の仕方を身につけました。

ヒトは生物として見た場合には何ら特別な存在で

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

はなく、単純（たんじゅん）な祖先から枝分かれして生まれ、生き残ってきた動物の一種なのです。20万年前に現れ２万数千年前に一人もいなくなったネアンデルタール人のように、生き残れずに絶滅したヒトの種も多くありました。

ヒトが他の動物と異なるのは、脳（のう）の発達によって、考えたり、予想したり、意志を伝達し合ったりするなかで、生活に役立つものをつくり、文化を生みだし伝えてきたことです。ヒトは、⑤それによって大いに繁栄（はんえい）し、きびしい自然を生き抜（ぬ）くことができたのです。そして⑥動物としてのヒトから、知恵（ちえ）をもつ人になったのです。

人類の祖先は、約600万年前にアフリカに現れたと考えられています。２本足で立ち、森を出て草原にくらすようになったのです（どのようにして２本足で立って歩けるようになったかについては、いろいろな説があります）。２本足で立つことによって両手を自由に使えるようになり、いろんな手作業をすることができるようになりました。草原には森林とちがう動物や植物が生息し、⑦それらを食糧（しょくりょう）として獲得する方法を身につけました。手の解放はヒトが進化してゆく大きなきっかけとなったのです。

まず最初に、解放された両手を使って道具を作りました。骨（ほね）・角や石を細工したものです。なかでも約200万年前に現れたホモ・ハビルス（器用なヒトという意味です）は進んだ石器を作り、モリ*のようなものを使って狩（か）りをし、包丁のようなもので植物を採集するようになりました。

約150万年前に現れた⑧ホモ・エレクトス（立つヒト）は、生まれ故郷（こきょう）のアフリカを出て世界中にちらばりました。人口が増えたため新しい土地へ進出するようになったのでしょう。アジアに来たのが北京（ペキン）原人やジャワ原人です。

（池内了（いけうちさとる）『命はどのようにして生まれたの？』）

＊モリ＝クジラや魚をとるための先のとがった漁具。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「生命は38億年という長い時間をかけて進化してきました」とありますが、ヒトはどのように進化してきましたか。次の表のA～Cにあてはまることばをそれぞれ書きなさい。

いつ	できごと
A	人類の祖先がアフリカに出現した。
約200万年前	（B　　　　）が現れた。
C	ホモ・エレクトスが現れた。

問二　――線②「ただ一種類の生命から出発し……いろいろな『種』に分かれてきた」とありますが、その様子をたとえを使って説明している部分を文中から書きぬきなさい。

□

問三　――線③「いずれも、祖先から分かれるときに少し変わった能力を獲得し」とありますが、ヒトは、２本足で立って歩く能力を獲得してどんなことができるようになったのですか。次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□を自由に使えるようになり、□
□□を集めたり、□□をつくったりすることができるようになった。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線④「ヒトはサルから生まれたといわれています」とありますが、事実はどうであると筆者は説明していますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　サルを祖先としてヒトが生まれた。
イ　ヒトを祖先としてサルが生まれた。
ウ　サルとヒトは別々の祖先から生まれた。
エ　サルとヒトは同じ祖先から生まれた。

□

問五　――線⑤「それ」が指している部分を文中からさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問六　――線⑥「動物としてのヒト」とありますが、ヒトを生物という面から説明している一文を文中からさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問七　――線⑦「それらを食糧として獲得する方法を身につけました」とありますが、たとえばどんな方法ですか。次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

・□□のようなものを使って狩りをする方法。
・□□のようなもので植物を採集する方法。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　――線⑧「ホモ・エレクトス（立つヒト）は、生まれ故郷のアフリカを出て世界中にちらばりました」とありますが、筆者はどんなことが原因だと考えていますか。

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

①ホモ・エレクトスの最大の発明は火を使うようになったことです。火を使えば、恐ろしい猛獣を近寄らせず、夜も昼間と同じように明るく照らし出し、冬は暖かく過ごせ、動物の肉や植物を料理して長持ちさせ味もおいしくできます。火を利用できるようになったことは、のちに土を焼いて丈夫な土器とし、砂からガラスを取り出し、岩から銅や鉄を作り出すというような技術へと発展していきました。火の使用はヒトの可能性を大きく広げたといえるでしょう。

ホモ・エレクトスは絶滅してしまいました。私たちの直接の祖先は、約20万年前にアフリカに現れた②ホモ・サピエンス（かしこいヒト）です。脳が大きくなり、知能の力は現代の私たちとかわりません。

約６万年前にアフリカを出て世界中の島々のすみずみまで生活場所を広げ、それぞれの壁画を残し、ネックレスを作って飾るなど文化を生み出すとともに、花を飾って人を埋葬するような宗教心が芽生えました。

やがて、コメやムギやジャガイモやトウモロコシなど、栄養分を多くふくむ主食とよばれる作物を栽培するようになりました。農業を開始したのです。およそ１万年前で、人びとは同じ場所に住み、集団で生きるという、現代につながる生き方をするようになったのです。

③動物は単独で生きることはできません。多くのものは群れをつくって生活していますが、単独でたがいに離れてくらしているものでも最低、子孫を残すためにオスとメスが出会う必要があるからです。そのため、④オスはメスの気をひくために合図を送らねばならず、鳥や熱帯魚のような目立つ色、ホタルやクラゲのような光、カエルやセミや鳥のような鳴き声を使うようになりました。虫は＊フェロモンというにおいを使って出会う努力をしています。

ヒトの場合は、結婚相手を探すだけでなく、猛獣に襲われないために集団でくらしたり、みんなで狩

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

りをしたりするようになりました。多くの人が集まると、それぞれが気持ちを伝え合わねばうまく行動できません。ものを考えるのにも言葉が必要です。⑤そのために、ものに名をつけたり、気持ちをあらわしたり、遠くに合図を送ったりするため、言葉を見つけ、話ができるようになったのだと思われます。

しかし、人が話をできるようになるのは、そう簡(かん)単(たん)ではなかったと思われます。体のしくみとして⑥二つのことが揃(そろ)わねばならないからです。一つは、いろいろな声音(こわね)が出るように喉(のど)の形が変わらねばならないことです。

サルは簡単な音声をだせますが、ヒトのように複雑な言葉にはなりません。それは、ヒトとサルの喉の構造がちがうためです。サルが言葉を話すためには、喉の形が変わらないとダメなのです。

もう一つは、言葉を覚え、使いこなすために脳が大きくならねばなりません。サルのような小さい脳では、簡単な合図は送れても、複雑な意志を思い浮(う)かべ伝えることはできないのです。

ヒトがいつ話せるようになったのかはわかっていません。最初は簡単な合図だけであったのでしょうが、喉の形が変わり、脳が大きくなり、生活や個人間の関係が複雑になっていくにつれて言葉も豊かになりました。そして脳をつかって言葉の組み合わせや規則(きそく)（文法）も決めていきました。［　　］を通じて人は大きく発展することができたのです。

（池内了(いけうちさとる)『命はどのようにして生まれたの？』）

＊フェロモン＝動物が体から分泌(ぶんぴつ)して、他の個体に影(えい)響(きょう)を与(あた)える物質。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「ホモ・エレクトスの最大の発明は火を使うようになったことです」とありますが、ヒトが火を使うようになったことを筆者はどう評価していますか。一文でさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

［　　　　］～［　　　　］

問二　――線②「ホモ・サピエンス」の特徴（とくちょう）をまとめた次の［　］にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

・約［　　　］前に、［　　　　］に出現した。

・［　　］の力は現代人とかわらない。

・［　　］やネックレスなど、［　　］を生み出した。

・人を埋葬するような［　　　］が芽生えた。

・作物を栽培し、［　　］を開始した。

問三　――線③「動物は単独で生きることはできません」とありますが、それはなぜですか。次の〔　〕にあてはまることばを書きなさい。

単独では〔　　　　　　　　　　〕から。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線④「オスはメスの気をひくために合図を送らねばならず」とありますが、動物たちの合図にはどんなものがありますか。文中から三字以内のことばを四つ書きぬきなさい。

問五　――線⑤「そのため」とありますが、何のためですか。よいものを次のうちから二つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　猛獣に襲われない集団を作るため

イ　ものを考えるため

ウ　狩りなどに多くの人を集めるため

エ　狩りをしてくらすため

オ　多くの人がそれぞれの気持ちを伝え合うため

問六　――線⑥「二つのことが揃わねばならない」とありますが、「二つのこと」とはどんなことですか。それぞれ書きなさい。

問七　□にあてはまることばを文中から二字で書きぬきなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　説明的文章⑥

一題目

問一　A　約600万年前
　　　B　ホモ・ハビルス
　　　C　約150万年前
問二　木が次々と枝分かれするように（生物の種が増え）
問三　両手・食べ物・道具
問四　エ
問五　脳の発達　～　きたこと
問六　ヒトは生　～　のです。
問七　モリ・包丁
問八　（例）人口が増えたこと。

二題目

問一　火の使用　～　しょう。
問二　20万年・アフリカ・知能・壁画・文化・宗教心・農業
問三　（例）子孫を残すことができない
問四　色・光・鳴き声・におい　（順不同）
問五　イ・オ　（順不同）
問六　・（例）喉の形が変わること。
　　　・（例）脳が大きくなること。　（順不同）
問七　言葉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。